

## 2024年度 海洋教育パイオニアスクール 【地域展開部門】継続申請のご案内

継続申請についてご案内いたします。

以下の要項をご確認のうえ、期日までに指定の申請書をお送りください。

申請書は新規募集のものとは様式が異なりますので、必ず「継続用」をご利用ください。

地球表面の約7割を占める海は、人を含む全ての生物が生きていける空間として、地球を維持しています。しかし、人の及ぼす影響に対する海の包容力が限界を迎えようとしている今、私たち一人ひとりが、海そのものに関する知識と体験に基づき、自分たちと海との関係を絶えず意識し、海が抱える課題を自分ごととして捉え、地球規模の視野で主体的に海にかかわることができるようになる必要があります。海に支えられた私たちの生活を守り、未来に引き継いでいくための知識と体験を得る学びとして、海洋教育が求められているのです。

海洋教育パイオニアスクールプログラム（以下、PSP）は、学校や教育委員会等に対する支援を通じて、学校での海洋教育の面的な広がりと質的な向上を図ることを目的としています。

|  |                    |
|--|--------------------|
| <a href="#">1.支援内容について</a>                     | <a href="#">2</a>  |
| <a href="#">2.地域展開部門に継続申請できる団体とその取り組みについて</a>  | <a href="#">3</a>  |
| <a href="#">3.対象となる経費について</a>                  | <a href="#">5</a>  |
| <a href="#">4.申請方法について</a>                     | <a href="#">6</a>  |
| <a href="#">5.審査について</a>                       | <a href="#">7</a>  |
| <a href="#">6.採択後のスケジュールや求められる提出物、電子契約に関して</a> | <a href="#">8</a>  |
| <a href="#">【補足説明資料】海洋教育とは</a>                 | <a href="#">10</a> |

## 1. 支援内容について

### 助成金額

教育委員会は年間500万円を上限、各学校は1校あたり年間50万円を上限とします。  
地域の実情に応じた実施可能な計画を作成しご応募ください。

※助成金額は原則として初年度に申請した金額を上限としますが、参加校数が増える場合は、新規校分の増額が認められます。また当初想定していなかった活動（例：地域外の学校との交流発表会等）経費の増額申請も可能です。

### 主催

笹川平和財団海洋政策研究所・日本財団

### 後援

文部科学省

### 海洋教育研究会・全国海の学び発表交流会

教員の皆さまを対象とした海洋教育研究会・海洋教育研究会サンセットトーク、  
幼児・児童・生徒の皆さまを対象とした全国海の学び発表交流会を開催しております。  
詳しくはPSPのwebサイトをご覧ください。

<https://www.spf.org/pioneerschool/event/SponsoredEvent.html>



## 2. 地域展開部門に継続申請できる団体とその取り組みについて

### 対象

教育委員会、地方自治体

### 対象期間

助成初年度含めて最長3年間

※1年毎に申請書をご提出いただき審査を行います。

### 募集内容

教育委員会や自治体の主導により年間を通じて行う海洋教育のパイロットモデルとなるような取り組みを募集します。地球規模の海洋問題の探究や地域課題の解決を見据えた学習、地域の特色を活かした学習など幅広い内容を対象とします。

### 注意点

- 1) 教科や単元の実施期間や時間数は問いませんが、該当する領域・教科等の年間指導計画に関連付いていることが必要です。
- 2) 指導計画に関連した活動であれば、部活動やボランティアなど、課外活動を含めることも可能です。
- 3) 事務局から海洋教育の教材を提供する可能性があります。その際は可能な範囲で活用にご協力ください。
- 4) 補足説明資料を必ずお読み頂き、海洋教育や海洋リテラシーについてご理解いただいた上で、申請内容をご検討ください。
- 5) 実施期間中に、進捗状況や予定等の確認・共有を行うため、事務局よりメール等にてご連絡をさせていただきますので、スムーズに連絡ができる体制を整えてください。
- 6) PSPが主催する海洋教育研究会(ハイブリッド開催)に、現地もしくはオンラインにて必ずご参加ください。また地方開催の場合、海洋教育研究会の共催事務局としてご協力をお願いする場合があります。
- 7) PSPが主催するイベントへの現地参加旅費の支援については検討中です。開催地が未定のため、海洋教育研究会等への参加のための旅費交通費は、助成金の予算には含めないでください。
- 8) 海洋教育の実践にかかわる知見や成果、課題等について学校内での蓄積に努めてください。またPSPにおいて実践事例集を作成する際にはご協力をお願いいたします。
- 9) 活動内容は次の各項目を充分考慮し計画してください。  
生命の尊重、環境への配慮、科学的根拠のある正しい知識、法令や規則等の遵守
- 10) 過去に不正使用や目的外使用を行った学校は助成対象外となります。

## 必須条件

### (1)助成終了後の継続的な実施のための環境整備

実施体制を構築し、自治体の政策として位置づけること

例：海洋教育推進協議会等の設置、海洋教育基本計画等の策定、総合計画への記載等

### (2)学校間の連携推進（継続地域は学校間の連携推進・発展）

### (3)参加校の合同発表会の開催

可能な限り保護者や地域の方等にも広く公開し、参加を促すこと

### (4)教員を対象とした海洋教育に関する研修の実施（学校外の視察等も含めること）

例：研修会や研究授業、外部講師による研修講話、学外視察研修（博物館等の社会教育施設、海岸、漁協、港湾など）

### (5)副読本の作成・公開（継続地域は副読本の活用と必要に応じて改訂の検討）

### (6)地域版海洋リテラシーの理解・普及の促進【2022年度 地域展開・アドバンス部門採択地域のみ】

## 努力項目

以下の項目についても実施可能なものは申請書に記載してください。なお、申請後、事務局との協議により計画に組み込んで頂く可能性もあります。

### (1)海洋教育に関するイベントの開催（他地域の学校が参加・発表できるもの）

### (2)身近な人や地域、社会へのアクションにつながる海洋教育の実践（単元計画部門参照）

### (3)教育課程特例校・授業時数特例校（「海洋に関する教育の充実」の選択）の申請・継続

### (4)地域の産業、経済、観光などと連携した取り組み

### (5)全国に向けた海洋教育の取り組みに関する情報発信

## 参考

補足説明資料（[p.10](#)）を必ずお読み頂き、海洋教育や海洋リテラシーについてご理解いただいた上で、申請内容をご検討ください。また、PSPのwebサイトに過去の活動報告や参考書籍等を掲載しておりますので、是非御覧ください。

採択校・活動検索：<https://www.spf.org/pioneerschool/program/search.html>

お役立ち情報：<https://www.spf.org/pioneerschool/useful/>



### 3. 対象となる経費について

以下の経費は対象になります。各学校・自治体の会計規則などにあわせてご作成ください。

| 費目          | 内容   |
|-------------|--|
| 諸謝金         | 授業や研究発表会等への外部派遣講師など専門家に対する謝金<br>※一回の上限は2時間あたり30,000円（オンラインは15,000円）を目安とします。<br>※PSPの関係者・関係団体への謝金支出はできません。詳しくはQ&Aをご確認ください。  |
| 旅費交通費       | 児童生徒の校外活動や研究発表会等の実施に関連する交通費、教員の他校の取り組み見学や勉強会・研修会等へ出席するために必要な旅費、外部講師の出張授業やその打ち合わせ等のための旅費など  |
| 消耗什器<br>備品費 | 申請する海洋教育に関する授業や研究発表会等に直接必要な機材や備品等の購入費<br>※下記の3点を全て満たすことを条件とします。<br>・購入する物品を使う活動が海洋教育であること。<br>・申請する活動を行うにあたって購入する物品が必要であること。<br>・購入する必要があること（学校にない物品あるいは転用できない物品など）<br><b>※用途や使用目的を明確に記載してください（内容によっては減額の可能性有り）。</b><br><b>※地域展開部門に於いては物品の購入は助成金額の50%を上限とします。</b><br>例) 実験器具、ライフジャケット、熱中症予防用品(テントなど)、<br>モデムやWi-Fiルーターなどの購入費や契約料、アプリケーションやソフトウェア |
| 印刷製本費       | 副読本・教材等の作成費、学習用プリント・研究発表会等で用いる配布物等のコピー費・印刷費など  |
| 図書費         | 教材の購入費   |
| 通信運搬費       | 郵送料、宅配便代など   |
| 委託費         | 授業を外部機関と連携して実施する際や教材を外部委託によって制作する際に係る委託費用  |
| 茶菓食事代       | 外部派遣講師との打ち合わせ等で提供する飲料代、校外実習での弁当代など   |
| 雑費          | 少額かつ上記経費項目に含めることができない諸経費（保険料、写真代など）  |

※これ以外の用途についてはお問い合わせください。

#### 経費として認められないもの

- ・申請した海洋教育に関連性のない授業・教育研究・学会発表等に係る費用
- ・新型コロナの影響で実施できない場合や雨天・災害時の代替案等、実施することが定かではない活動に係る費用。  
(必要に応じて年度途中での計画・予算変更が可能です)
- ・翌年度に実施する内容に係る費用（費用の前払いなど）
- ・当該活動において支出されたことが明らかでない費用（固定電話代など）
- ・人件費・給与等
- ・学校外での飲食店の費用
- ・宿泊費のうち、直接関わりのないルームサービスやランドリー等の費用
- ・教員や外部講師の移動の際のスーパースーツ、グリーン車等の特別料金
- ・酒やタバコ代、その他経費の範囲を逸脱し、社会通念上接待交際費に当たるもの
- ・助成金に関する間接経費、事務処理費、オーバーヘッド等（大学附属の場合）
- ・助成金を共同研究、受託研究などとして受け入れることで生じる消費税相当額
- ・大判プリンタ(プロッタ)は、インクや用紙などの消耗品が高価で、助成終了後に活用されない事例が多いため不可

## 4. 申請方法について

PSPのwebサイト (<http://www.spf.org/pioneerschool/application/>) で  
申請書をダウンロードし、必要事項をご記入のうえメールでお送りください。



送付先メールアドレス：[pioneer.application@spf.or.jp](mailto:pioneer.application@spf.or.jp)

|      |  |
|------|--|
| 受付期間 | 2023年11月1日（水）～11月10日（金）<br>※申請期間に間に合わない場合は事務局までご相談ください。  |
| 提出物  | 申請書、補足資料   |
| 注意点  | <ul style="list-style-type: none"><li>・申請書は部門毎によって異なります。また昨年度の様式とも異なります。ご確認の上、必ず今年度の指定部門のエクセルファイルにてご作成ください。ワードやPDFの形式では受け付けられませんのでご注意ください。</li><li>・必ず申請受付用メールアドレス（<a href="mailto:pioneer.application@spf.or.jp">pioneer.application@spf.or.jp</a>）までお送りください。郵送・FAXでの申請は受け付けません。申請受付用メールアドレス以外へお送りいただいた申請書は受付対象外となりますのでご了承ください。</li><li>・申請受付後、確認メールをお送りいたします。確認メールが届かない場合は、申請受付が完了していない可能性がありますので、事務局までお問い合わせください。</li><li>・申請の際に収集した個人情報は、助成に関する事務手続き、助成金の募集案内、海洋教育に関連するイベント案内、アンケートの実施、その他各種お知らせのために利用します。</li></ul> |

## 5. 審査について

### 審査の流れ

#### 【事務局との協議】

- ・計画内容について申請者様と事務局で直接面談の上で協議を行います。

#### 【審査】

- ・審査委員会を経て採択を決定いたします。

### 審査の視点

以下の視点から総合的に審査し、決定致します。審査の過程で申請内容についてヒアリングさせていただく可能性があります。

- ・これまでの海洋教育に関する取り組みの実践や地域における海洋教育の広がりの有無
- ・実施内容と海洋との関連性が明確であるか
- ・海洋教育の面的な広がりと質的な向上に寄与できるか
- ・実施内容を通して育成を目指す資質・能力が明確であるか
- ・課題の発見と解決に向けて主体的・対話的で深い学びになっているか
- ・複数学年で系統的に実施可能な内容か
- ・実施成果を対外的に発信していく予定の有無（学会・研究会等での発表、記事や論文の投稿、webサイトでの情報発信等）
- ・他地域にない新規性やユニークさ、学校の独自性や創意工夫等の有無
- ・組織的に取り組む体制、保護者や地域の方等との連携の有無
- ・実施内容に見合った時間数になっているか
- ・児童・生徒にとって教育的効果のある計画になっているか
- ・支援期間終了後、継続的な活動、更なる取り組みへの展開が期待できるか
- ・予算の合理性・妥当性
- ・初年度の取り組み内容・進捗状況
- ・必須条件や努力項目の対応状況

### 審査結果の通知

審査結果は決定後、速やかに通知します（2月中旬を予定）。決定前のお問い合わせや外部連携機関（NPO等）からのお問い合わせには対応しかねますのでご了承ください。

## 6. 採択後のスケジュールや求められる提出物、電子契約に関して

### スケジュール

| 2023年  |      |      |     | 2024年    |        |                        | 2025年 |          |               |
|--------|------|------|-----|----------|--------|------------------------|-------|----------|---------------|
| 10月    | 11/1 | 12/8 | 12月 | 2月中旬     | 4月     | 6月                     | 3/31  | 4月以降     |               |
| 募集要項発表 | 申請受付 |      | 審査  | 助成校決定・内示 | 助成契約締結 | ※電子契約(下記参照)<br>助成金振り込み | 授業実践  | 提出物の提出期限 | 監査(書面または実地監査) |

※審査や実践の過程で実施内容等についてヒアリングをさせていただく可能性があります。

### 終了時に求められる提出物

- (1) 実施概要：教育委員会と各学校の概要を写真とともに指定のフォーマットで紹介するもの  
(教育委員会1枚、各校1枚と写真数点)
- (2) 実践記録集：各学校が取り組んだ年間指導計画、学習指導案（単元計画や授業案）などを冊子としてまとめたもの  
※各校複数の学習指導案を含めるようにしてください。  
学習指導案の書式は学校や自治体で用いている書式で構いません。  
詳細は審査・事務局との面談時に確認させていただきます。
- (3) 副読本（最終年度のみ）
- (4) 自己評価シート：全体を振り返って良かった点、反省点などを自己評価いただくもの
- (5) 支出報告：収支・会計についての報告

※(3)副読本以外は毎年提出していただきます。

※フォーマットの見本はPSPのwebサイトの募集要項ページでご確認ください。

<https://www.spf.org/pioneerschool/application/>

※提出物や写真等は、教育・研究活動や普及活動のため、印刷物・webサイト等に使用させていただきます。著作権や肖像権等にご留意いただき、公開可能な状態のもののみご提出をお願いいたします。



※学習活動が、新聞記事やテレビ等のメディアで活動が取り上げられた場合や、表彰を受けた場合は、随時、報道内容（媒体名・掲載日時・タイトル・URL等）や受賞内容（賞の名称・受賞日時・URL等）などを事務局に必ず共有いただきますようお願いいたします。PSPのwebサイト等で紹介させていただきます。

## 採択後の電子契約について

採択後に、弁護士ドットコム株式会社運営の「クラウドサイン」を用いて電子契約を行います。電子契約に関する手順・詳細、及びクラウドサインについては下記の資料をご確認ください。

- ・電子契約の手順・詳細：<https://www.spf.org/pioneerschool/global-data/2023e-contract.pdf>
- ・クラウドサインについて：<https://www.cloudsign.jp/>



## 運営事務局（お問い合わせ先）

〒105-8524 東京都港区虎ノ門1-15-16 笹川平和財団ビル6F

笹川平和財団海洋政策研究所 海洋教育パイオニアスクールプログラム事務局

Tel: 03-5157-5279 Fax: 03-5157-5230

E-mail 問い合わせ先: [ocean-education21@spf.or.jp](mailto:ocean-education21@spf.or.jp)

申請書送付先: [pioneer.application@spf.or.jp](mailto:pioneer.application@spf.or.jp)

## 【補足説明資料】 海洋教育とは

### 海洋教育は私たちの未来を支える学校教育のテーマです

人類は、海洋から多大な恩恵を受けるとともに、海洋環境に少なからぬ影響を与えており、海洋と人類の共生は国民的な重要課題となっています。

海洋教育は、海洋と人間の関係についての国民の理解を深めるとともに、海洋環境の保全を図りつつ国際的な理解に立った平和的かつ持続可能な海洋の開発と利用を可能とする知識、技能、思考力、判断力、表現力を有する人材の育成を目指しています。この目的を達成するために、海洋教育は、海に親しみ、海を知り、海を守り、海を利用する学習を推進します。

### 海洋教育の4つのキーワード

海洋教育は、「海に親しむ」ことから始まり、「海を知る」ことで海への関心を高め、さらに海と人との共生のために「海を利用」しながら「海を守る」ことの大切さを学ぶものです。



### 海洋リテラシー

海洋リテラシーとは、「海が人間にもたらす影響と、人間が海にもたらす影響とを理解すること」であり、「海洋に関する共通教養」、「海洋に関する広範な基礎知識」とも言われていますが、総じて人が海と共に生きるために必要な知識や能力と考えられます。海洋リテラシーの具体的な内容を記したものの例として、2005年にアメリカで作成された『Ocean Literacy』、そして2017年にユネスコ政府間海洋学委員会 (UNESCO-IOC) の『Ocean Literacy for All -A Toolkit-』 (以下『Ocean Literacy for All』、東大海洋教育センター (COLE) より日本語訳公開) があります。『Ocean Literacy for All』は、『Ocean Literacy』と世界各地の海洋教育実践例とをまとめたもので、海洋を理解する上で重要な科学的な知識として「地球には、多様な特徴を備えた巨大な一つの海洋がある」「海洋と海洋生物が地球の特徴を形成する」等の7つの基本原則が示されています。

### 地域型海洋リテラシー

『Ocean Literacy for All』に「海洋リテラシーは国や文化ごとに異なる解釈となりうる」ことが示されているように、日本国内においても地域間で海との向き合い方が異なると考えられます。つまり地域型海洋リテラシーは、『Ocean Literacy for All』の7つの基本原則を各地域の特性を考慮しながらライトしたものを作成する必要があります。

地域の自然環境、文化歴史、産業に関する学びを各原則の理解につなげることで、全球的に共通の海洋の知識を得ると共に、その地域で海と共に生きるための考え方を身に付けることを目的とします。海と地域の結びつきを多面的に知ることで、地域を地球規模の広い視点と長い時間スケールでとらえ、気候変動への適応など将来に向けた生き方を考える素地になると考えられます。

## 海洋教育に関する教育課程特例校と授業時数特例校

海洋教育に関する教育課程を設置している教育課程特例校の一覧です。(2023年4月時点)

| 科目名      | 海洋あり     |             |           |        |        | 海洋なし   |                |             |        |        |  |
|----------|----------|-------------|-----------|--------|--------|--------|----------------|-------------|--------|--------|--|
|          | 都道府県     | 学校名         | 科目名       | 指定年月   | 終期     | 都道府県   | 学校名            | 科目名         | 指定年月   | 終期     |  |
| 科目名に海洋あり | 岩手県      | 洋野町立中野小学校   | 海洋科       | 2015.4 | 2026.3 | 石川県    | 能登町立小木小学校      | 里海科         | 2015.4 |        |  |
|          | 岩手県      | 洋野町立中野中学校   | 海洋科       | 2020.4 | 2025.3 | 鹿児島県   | 与論町立茶花小学校      | 海洋教育科「ゆんぬ学」 | 2022.4 |        |  |
|          | 岩手県      | 洋野町立種市小学校   | 海洋科       | 2021.4 | 2026.3 | 鹿児島県   | 与論町立与論小学校      | 海洋教育科「ゆんぬ学」 | 2022.4 |        |  |
|          | 岩手県      | 洋野町立種市中学校   | 海洋科       | 2021.4 | 2026.3 | 鹿児島県   | 与論町立与論中学校      | 海洋教育科「ゆんぬ学」 | 2022.4 |        |  |
|          | 岩手県      | 洋野町立角浜小学校   | 海洋科       | 2021.4 | 2026.3 | 鹿児島県   | 与論町立那間小学校      | 海洋教育科「ゆんぬ学」 | 2022.4 |        |  |
|          | 岩手県      | 洋野町立宿戸小学校   | 海洋科       | 2021.4 | 2026.3 | 沖縄県    | 糸満市立糸満小学校      | 海人科         | 2021.4 |        |  |
|          | 岩手県      | 洋野町立大野小学校   | 海洋科       | 2022.4 |        | 沖縄県    | 糸満市立糸満中学校      | 海人科         | 2020.4 |        |  |
|          | 岩手県      | 洋野町立大野中学校   | 海洋科       | 2022.4 |        | 沖縄県    | 糸満市立糸満南小学校     | 海人科         | 2021.4 |        |  |
|          | 岩手県      | 洋野町立林郷小学校   | 海洋科       | 2022.4 |        | 沖縄県    | 糸満市立高嶺小学校      | 海人科         | 2020.4 |        |  |
|          | 岩手県      | 洋野町立帯島小学校   | 海洋科       | 2022.4 |        | 沖縄県    | 糸満市立高嶺中学校      | 海人科         | 2020.4 |        |  |
|          | 宮城県      | 気仙沼市立鹿折小学校  | 海と生きる探究活動 | 2020.4 | 2025.3 | 沖縄県    | 竹富町立上原小学校      | 結ぬ海(ゆいぬうみ)科 | 2021.4 | 2024.3 |  |
|          | 宮城県      | 気仙沼市立唐桑小学校  | 海と生きる探究活動 | 2021.4 | 2026.3 | 沖縄県    | 竹富町立古見小学校      | 結ぬ海(ゆいぬうみ)科 | 2021.4 | 2024.3 |  |
|          | 東京都      | 北区立東十条小学校   | 海育課       | 2015.4 |        | 沖縄県    | 竹富町立船浦中学校      | 結ぬ海(ゆいぬうみ)科 | 2021.4 | 2024.3 |  |
|          | 東京都      | 北区立王子桜中学校   | 海育課       | 2015.4 |        | 沖縄県    | 竹富町立大原中学校      | 結ぬ海科        | 2022.4 |        |  |
|          | 神奈川県     | 逗子開成中学校     | 海洋人間学     | 2015.4 |        |        |                |             |        |        |  |
|          | 科目名に海洋なし | 北海道         | 羅臼町立羅臼小学校 | 知床学    | 2020.4 | 2025.3 | 長崎県            | 佐世保市立宇久小学校  | 宇久・実践  | 2019.4 |  |
|          |          | 北海道         | 羅臼町立春松小学校 | 知床学    | 2020.4 | 2025.3 | 長崎県            | 佐世保市立宇久中学校  | 宇久・実践  | 2019.4 |  |
| 北海道      |          | 羅臼町立知床未来中学校 | 知床学       | 2020.4 | 2025.3 | 福岡県    | リンデンホールスクール小学部 | 環境          | 2009.4 |        |  |
| 青森県      |          | 青森市立北中学校    | 北の杜学      | 2022.4 |        | 福岡県    | リンデンホールスクール中学部 | 環境          | 2009.4 |        |  |
| 青森県      |          | 青森市立東中学校    | 地域探究科     | 2022.4 |        | 大分県    | 姫島村立姫島小学校      | ふるさと科       | 2017.4 |        |  |
| 宮城県      |          | 塩竈市立浦戸小学校   | 浦戸探究科     | 2015.4 |        | 大分県    | 姫島村立姫島中学校      | ふるさと科       | 2017.4 |        |  |

【育成する教科等横断的な資質・能力、充実する探究的な学習活動】として「海洋に関する教育の充実」を選択した授業時数特例校の一覧です。(2023年4月時点)

| 都道府県 | 学校名       | 指定年月   |
|------|-----------|--------|
| 埼玉県  | 久喜市立本町小学校 | 2023.4 |
| 埼玉県  | 草加市立瀬崎小学校 | 2023.4 |
| 東京都  | 目黒星美学園小学校 | 2022.4 |